**活動報告（activity report）**

・日　時　（天　候）　　５月２日（晴れ）

・エリア　　　　長野公園丸山地区、長野地区

・時　間　　１５時３０分～17時

・参加者　　トモロス　２名、　長野公園　１名

・目　的　　長野公園管理事務所では、ビオトープの取組を

　　　　　　 研究しています。

# ナラ枯れの被害も見受けられます

里山林の構成樹種のコナラ、クヌギなどは、生活利用のために定期的に間伐が行われてきたが、放置され必要以上に成長すると、カシノナガキクイムシが樹幹内に産卵する。この時にナラ菌の胞子が木の中に侵入し、この蔓延を防ごうとして通水機能を止めてしまうことで、木そのものが枯死にいたる。

ビオトープとは

　有機的に結びついた生物群が形成する、周辺地域から明らかに区別できる性質をもった**環境**の最小単位のことをいう。**ビオトープ（環境）**とその中で生息する生物群によって生態系が構成される。水辺、ため池のイメージが強いが、世界的には、森林や崖地、極端に乾燥した土地などでの取組も見られる。